

グループ④	ファシリテーター:永井真澄(茨城県立中央病院)
テーマ	教育について
参加者	3名
	手術室経験は6年から10年の教育担当者3名
内容	<p><教育について悩んでいることなど></p> <p>新人に指導したことがきちんと伝わっているのか、また、理解できているかを把握するために、新人の指導内容の受け取りの確認はどのように行っているか知りたい。</p> <p>→ ・一緒に手術に入ってみて、新人の行動をみて把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを行うときに、具体的な言葉にして伝える。 ・どうしてそのように行ったのかを新人に言葉に出して言ってもらう。 <p>新人が積極的な方の場合は、分からないことなどを自分から聞いてくることもあり教えやすい。勉強してきた内容を一緒に確認する。交換日記のように、振り返ってきたノート等を活用しアドバイス等を行っている。</p> <p>残業はなるべくしないように言われており、時間内に振り返りを行うようにしているが、難易度が高い手術に入るようになってくると、短時間で振り返りを終わらせることが厳しくなってくる。技術の習得時間の確保に難渋する。</p> <p>→ ・チェックリストを活用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場合によっては残業となることもあるが、家で振り返ってきてもらうこともある。 翌日振り返ったものを提出してもらい、確認を行っている。 ・ラインなどのツールを利用して、相談にのったりアドバイスを行っている。 ・振り返りが必要な場合は業務を調整してもらい、振り返り等の時間を確保している。 <p>ゆとり世代の影響もあるのか、コミュニケーションがとりにくい。指導を行っていてもマイペースでやる気がない。以前は積極的に学ぶのが当たり前だったが、現在は言わないとやらない、進んでやるという気持ちを感じられない新人が多いように感じられる。</p> <p>→ ・2年目くらいから自主性がでてくるようにも感じる。性格にもよるのではないか。慣れてくると、今まで点と点であったものが繋がって、先読みできるようになってくる。1年目は、略語の理解も未熟なため、会話が聞き取れていないのではないか。周りのスタッフにも長い目でみてもらう。</p>